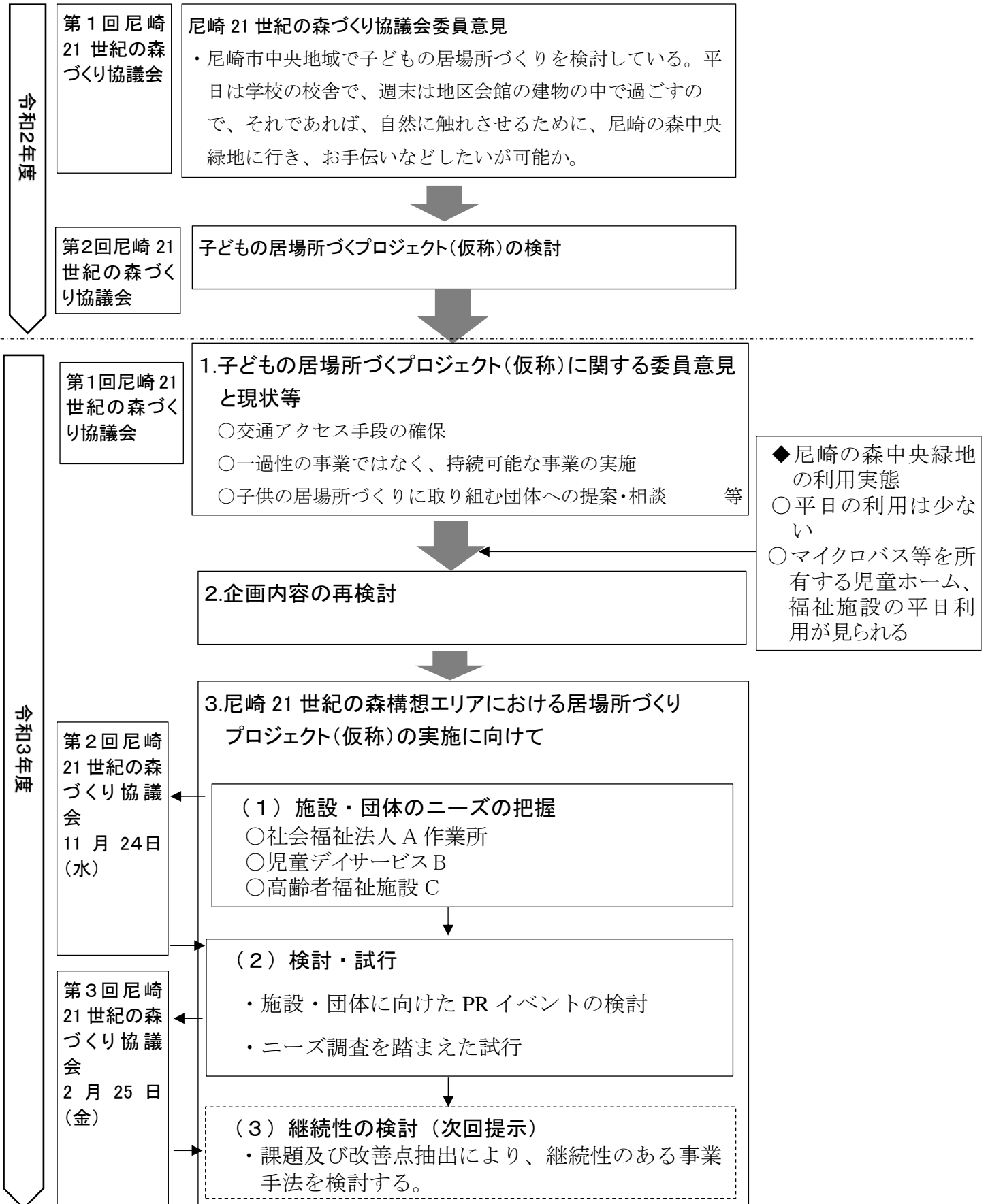


尼崎 21 世紀の森構想エリアにおける居場所づくりについて

資料 2

■令和 2 年度協議会から令和 3 年協議会までの検討経緯



1.子どもの居場所づくプロジェクト(仮称)に関する委員意見と現状等

- 令和2年度に企画・検討を行った子どもの居場所づくりプロジェクト(仮称)に関して、各委員より「交通アクセス手段の確保」「バスを手配し、一過性の事業とするのではなく、持続可能な事業として実施すべき」「子供の居場所づくりに取り組む団体へ提案・相談」等の意見が出された。
- そこで、尼崎の森中央緑地を利用している児童ホームや、知的障がい者施設等にヒアリングを行ったところ、施設のマイクロバスを利用して平日にしばしば来園していることが確認された。
- このことから、交通アクセスや持続可能性等について現状を勘案すると、これらの団体が上記の条件に合致するものと考えられる。
- よって「子どもの居場所づくプロジェクト」(仮称)について、対象を児童ホームや障がい者及び高齢者福祉施設等に拡大し、「森構想エリアにおける居場所づくりプロジェクト」(仮称)として企画内容を検討する。

2.企画内容の再検討

プロジェクトの企画内容を以下の通り変更した。

(1) 目的

尼崎21世紀の森構想の推進に係る取組として、森構想エリア内の施設の利用を促進できるよう、児童ホームに通う子ども(発達障がい者を含む)や、福祉施設を使用する高齢者、障がい者等の利用を促進する。

(2) 内容

対象とする施設・団体に向けたPRイベント検討・試行や恒常的な利用の受入れ環境及び体制づくりの検討

3. 尼崎 21 世紀の森構想エリアにおける居場所づくりプロジェクト(仮称)の実施に向けて

(1) 施設・団体のニーズの把握

多様な利用者の居場所となるよう各団体に対してヒアリングを行う等ニーズ調査を実施した。森構想エリア内の施設の利用を促進に向けて、現在尼崎の森中央緑地を利用また利用を予定している以下の団体にヒアリングを行った。

日時	ヒアリング対象	所在地	備考
9月8日(水)	社会福祉法人 A 作業所	西宮市	・就労継続支援 B 型 ・生活介護
9月14日(火)	児童デイサービス B (未就学児(2~6歳)・小中高生)	尼崎市	・児童発達支援 ・放課後等デイサービス(多機能型)
10月4日(月)	高齢者福祉施設 C	尼崎市	・高齢者介護予防

◆ヒアリング項目

- 臨海地域に来るきっかけや目的
- 尼崎の森中央緑地を利用する理由
- 臨海地域の施設の利用するにあたっての条件
- イベント・プログラム参加の可能性について
- ボランティア等の健全者とのかかわりについて

ヒアリング結果(共通する主な意見)

ヒアリング項目	内容
臨海地域に来るきっかけや目的	・目的は運動や屋外でのリフレッシュ。
尼崎の森中央緑地施設を利用する理由	・スタッフの目が行き届く広くて見通しが良いため。 ・平日の利用者が少ない時期など、他の利用者に気兼ねすることなく利用できるため。
臨海地域の施設の利用するにあたっての条件	・静かな場所など、人があまりいないほう好ましい。 ・休憩できる施設としてあずまや等の建物は必要。
イベント・プログラム参加の可能性について	・発達障がいの子どもは、元気でウォークラリーなどのイベントはぜひ参加させたい。 ・知的障がい者が喜ぶような簡単な遊具で遊ぶことや、クラフト体験のプログラムの参加は可能。
ボランティア等の健全者とのかかわりについて	・専門的な対応はスタッフが対応するので問題ない。 ・スタッフ以外の健全者と一緒になる機会は少ないので色々なプログラムのガイドなどに協力いただければありがたい。

※高齢者施設では屋外での活動は実施していないとのことであった。

(2) 検討・試行

ニーズ調査を踏まえ恒常的な利用の受入れ環境・体制づくり、または対象とする施設・団体に向けたPRイベントを検討・試行する。

一過性のイベントではなく継続的な取組みに向けて、以下について留意してイベントの検討・試行を行う

<検討・試行のポイント>

- 1) 各施設が所有するバスを活用し、バス、または徒歩で構想エリア内を周遊できるイベントを提供する。
- 2) 尼崎 21 世紀の森づくり構想エリアの特徴を活かしたプログラムとして参加者に満足してもらう。
- 3) ボランティアなどの健常者といっしょにイベントに参加する。

<イベントの対象と検討・試行する企画案>

イベントの対象	検討・試行する内容案	
①児童デイサービス向け	<u>森構想エリアを周遊する企画</u> ・児童デイサービスが所有するバスを活用した構想エリア内ツアーの実施 ・スタンプラリー、ウォークラリーの実施 ※可能であれば健常者と一緒に巡る	・構想エリア内の施設周遊ツアー
		・スタンプラリー (ウォークラリー)
②知的障がい者施設向け	<u>施設滞在型の利用促進の企画</u> ・尼崎の森中央緑地かやぶき民家や、パークセンターでのプログラム提供 (かやばー、森づくり体験、山野草、畑づくり) ・尼崎スポーツの森の高齢者、障がい者を対象としたプログラムとの連携	・間伐材を活用したアート&クラフト
③高齢者福祉施設向け	<u>認知症サポーターなどのボランティアと連携した企画</u> ・かやぶき民家を活用して、尼崎市内で養成している認知症サポーターの活動の場づくりや、認知症の高齢者の家族が集まり、話し合う場をつくる。	・かやぶき民家カフェ

<結果の検証に向けて>

試行結果の検証については、以下を対象にヒアリングやアンケートで行う。

○施設のスタッフ

○イベントに同伴する家族

○イベントにおける講師やガイド役となるボランティア

①-1 児童デイサービス向けイベント

<名称>

- ・ 構想エリア周遊ツアー（p6 参照）

<参加対象>

- ・ 児童デイサービス等の日頃より尼崎の森中央緑地を利用している団体など

<内容>

- ・ 構想エリア内の指定された各施設をツアー
※原則児童デイサービスが所有数するバスを活用
- ・ 各施設にて各種プログラムを実施

①-2 児童デイサービス向けイベント

<名称>

- ・ スタンプラリー（ウォークラリー）

<参加対象>

- ・ 児童デイサービス等の日頃より尼崎の森中央緑地を利用している団体など

<内容>

- ・ 構想エリア内の指定された各施設を徒歩で巡る。
※（スタート：尼崎の森中央緑地、ゴール・解散：北堀運河など（児童デイサービス施設の所有するバスの待機をお願いします））
- ・ 各施設にてスタンプを押印

②知的障がい者施設向けイベント

<名称>

- ・ 間伐材を活用したアート&クラフト

<参加対象>

- ・ 知的障害者施設等の日頃より尼崎の森中央緑地を利用している団体など

<内容>

- ・ 間伐材を活用したコースターやメダルづくり

③高齢者福祉施設向けイベント

<名称>

- ・ かやぶき民家カフェ

<参加対象>

- ・ 認知症の高齢者、その家族、認知症サポーター

<内容>

- ・ 認知症の高齢者の家族が集まり、情報交換など話し合いの場づくり
※課題：アクセス手段がない

①-1 児童デイサービス向けイベント案
構想エリア周遊ツアー案

案1：森構想エリア満喫コース(1日コース)

時間	場所	目的・内容
09:30	パーク センター	【目的】 ○屋外でのリフレッシュ、 健康づくり 【内容】 ・大芝生広場散策 ・かやぶき民家見学 ・森づくりプログラムの体験
10:40	移動	
10:50	スポーツ の森	【目的】 ○運動施設を使った健康づくり 【内容】 ・プール、スケートなど
12:00	移動	
12:10	元浜緑地	【目的】 ○昼食・休憩
13:30	北堀運河	【目的】 ○運河の環境学習 【内容】 ・水質浄化施設見学、運河に 関する体験プログラムなど
14:30	移動	
14:45	海釣り 公園	【目的】 ○海辺でのリフレッシュ 【内容】 ・釣り公園に見学、尼崎の魚 を学ぶ
15:45	終了	

案2：尼崎の森・運河コース(半日コース)

時間	場所	目的・内容
09:30	パーク センター	【目的】 ○屋外でのリフレッシュ、 健康づくり 【内容】 ・大芝生広場散策 ・かやぶき民家見学 ・森づくりプログラムの体験
10:40	移動	
10:50	北堀運河	【目的】 ○運河の環境学習 【内容】 ・水質浄化施設見学、運河に 関する体験プログラムなど
12:00	終了	

尼崎臨海地域（森構想エリア）のレクリエーション等の施設と活動について

■尼崎の森中央緑地（①パークセンター、②スポーツの森）

- <施設内容>
- ・広大な芝生広場、森、
 - ・かやぶき民家、
 - ・パークセンターなど



大芝生広場



かやぶき民家 パークセンター

- <特徴>
- ・広い、見渡せる
 - ・建物で休憩できる

■チャンネルベース

<施設内容>

- ・水質浄化施設



水質浄化施設



オープンチャンネルデッキ

<特徴>

- ・運河に親しむイベントの開催：写真上右
- ・環境学習の取組、SUPなどの活動の実施

③北堀運河など

<施設内容>

- ・運河沿いの遊歩道



北堀運河沿いの遊歩道

<特徴>

- ・水辺を眺めながら、ゆったりと落ち着いてウォーキングや散歩ができる

○水質浄化活動など

<活動内容>

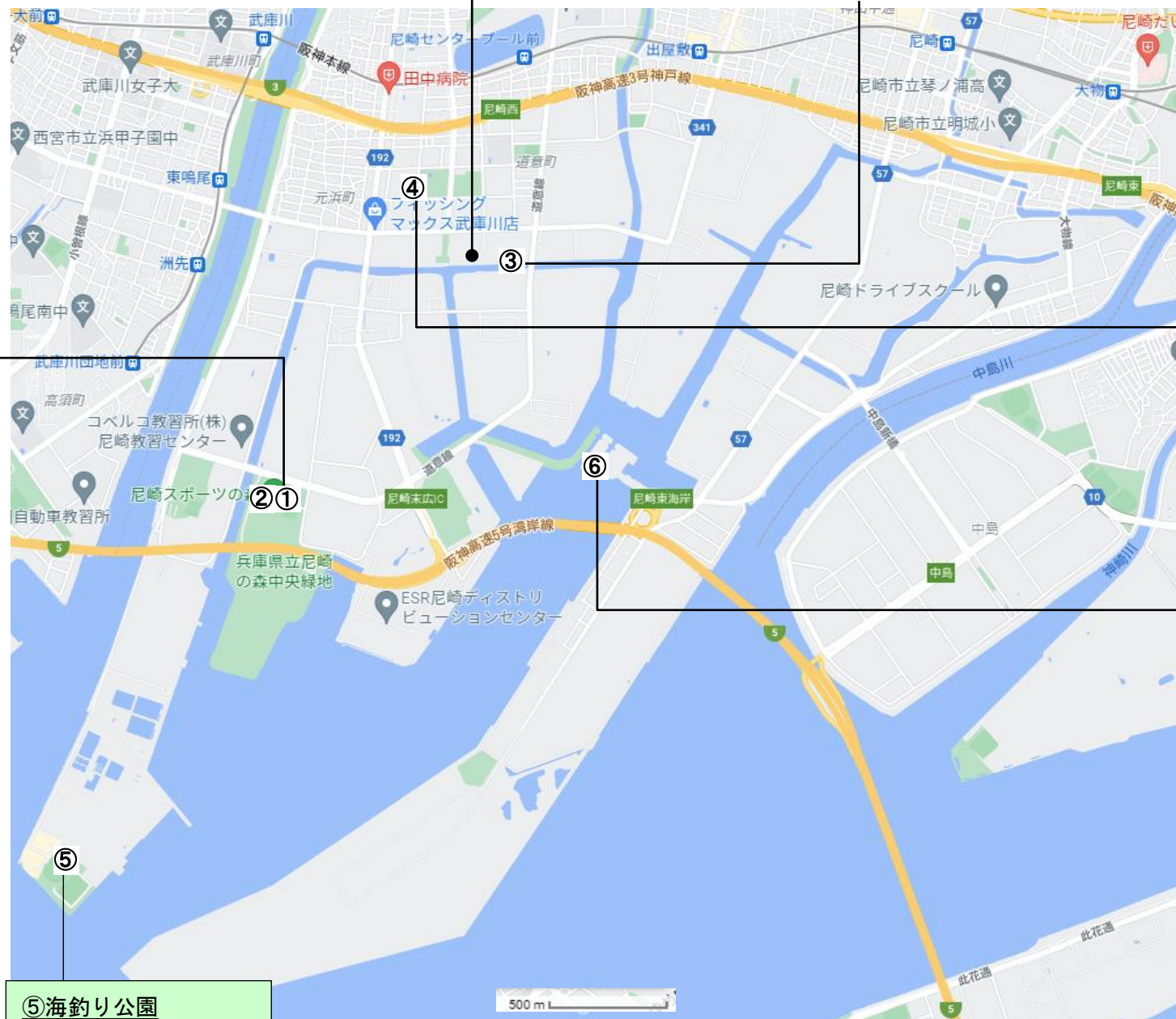
- ・運河沿いの緑化、美化、ヨシ刈



海藻を使った堆肥の活用



ヨシ刈り



④元浜緑地

<施設内容>

- ・ロングスライダー、大型遊具
- ・水遊び場（夏）など



水遊び場



ロングスライダー

<特徴>

- ・子どもや家族で賑わう

○森づくりの活動

<活動内容>

- ・植樹、樹木の育成（草刈、間伐など）



植樹イベント（あましん植樹祭り）

⑥尼ロック

<施設内容>

- ・防災展示室



尼ロック（特別公開チラシより）

<特徴>

- ・屋内施設を見学。楽しく防災学習ができる（申込制）

⑤海釣り公園

◆参考◆

各施設のヒアリングシート

社会福祉法人 A 作業所	7
児童デイサービス B	9
高齢者福祉施設 C	11

ヒアリング結果シート（知的障がい者施設）

実施日	令和3年9月8日
施設名	社会福祉法人 A 作業所

臨海地域に来るきっかけや目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 尼崎スポーツの森のプールを利用した時に中央緑地の存在を知った。 ・ 目的は運動やリフレッシュ
尼崎の森中央緑地を利用する理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入所者が知的障がい者のため、スタッフの目が行き届く広くて見通しが良いため。 ・ 平日の利用者が少ない時期など、他の利用者に気兼ねすることなく利用できるため。
臨海地域の施設の利用するにあたっての条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静かな場所など、人があまりいないほう好ましい ・ 休憩できる施設としてあずまや等の建物は必要
イベント・プログラム参加の可能性について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩き回るようなイベントなどの参加は難しい ・ 障がい者が喜ぶような簡単な遊具で遊ぶことや、クラフト体験のプログラムの参加は可能 <p>※昔は各事業所が集まって運動会などを実施していた。</p>
ボランティア等の健常者とのかわりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門的な対応はスタッフが対応するので問題ない。 ・ ボランティアの方にガイドや解説をしてもらえるとありがたい。（虫好きの人もいる）

ヒアリング結果シート（児童デイサービス施設）

実施日	令和3年9月14日
施設名	児童デイサービスB

臨海地域に来るきっかけや目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関連会社の他の事業所の紹介で中央緑地を知った ・ 目的は屋外でのリフレッシュ（休日や夏休みなど）
尼崎の森中央緑地を利用する理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平日の利用者が少ない時期など、他の利用者に気兼ねすることなく利用できるため。
臨海地域の施設の利用するにあたっての条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常は室内利用が中心だが、コロナ禍で屋外利用へのシフトを検討している。 ・ 但し、静かな場所など、人があまりいないほう好ましい
イベント・プログラム参加の可能性について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発達障がいの子どもは、元気でウォークラリーなどのイベントはぜひ参加させたい。 ・ クラフト体験などのプログラムの参加も可能であるが、発達障がいのこと接することに慣れてない人も多く、不安を感じる。
ボランティア等の健全者とのかわりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門的な対応はスタッフが対応するので問題ない。 ・ スタッフ以外の健全者と一緒になる機会は少ないので色々なプログラムに協力いただければありがたい。

ヒアリング結果シート（高齢者福祉施設）

実施日	令和3年10月4日
施設名	高齢者福祉施設C

臨海地域に来るきっかけや目的	<ul style="list-style-type: none"> 当施設では屋外での取組が少なく、臨海地地域には行ったことがないが、尼崎の森中央緑地のかやぶき民家は、高齢者の認知症予防の取組に活用できるので、一度利用したいと考えている。
尼崎の森中央緑地を利用する理由	—
臨海地域の施設の利用するにあたっての条件	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通などの交通手段の確保
イベント・プログラム参加の可能性について	<ul style="list-style-type: none"> かやぶき民家を活用して、かやぶき民家カフェなどを開催し、尼崎市内で養成している認知症サポーターの活動の場づくりや、認知症の高齢者の家族が集まり、話し合う場をつくる。
ボランティア等の健常者とのかわりについて	<ul style="list-style-type: none"> 尼崎市で認知症サポーターを養成しており、これらの人材の活用現場としてかやぶき民家を活用したい。